



2026年度 3学年通信 友よ 我等は

甲府東高等学校
2026. 7. 22(水)
第5号

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください
夏休みの宿題です

学年主任 古屋 彰士

6月22日・29日の両日、3年生全員を対象に、秋山先生による小論文講座が行われました。その最後のところで、「日常生活における『自立』とはどのようなことか、あなたの考えを800字以内で述べよ。」というテーマで構成メモ作りに取り組んだのを覚えているでしょうか。はたして「日常生活において自立している状態」とはどのような状態なのでしょう。皆さんはどのようなことを考え、どのような構成メモを作成しましたか。見返してみてください。

国語辞典によると…**自立**とは、「他からの支配や援助を受けず、自分の力だけで物事を行うこと」とあります。では、東高校生にとってより身近な言葉である「自律」とはどのように異なるのでしょうか（小論文講座の際に「親からその違いについてよく聞かれるんですよ」と言っていた生徒がいました）。国語辞典によると…**自律**とは、「外部からの制御から脱して、自身の立てた規律に従い、自らを規制しながら行動すること」だそうです。二つの言葉の関係性はいったいどうなっているのでしょうか。また、世の中には、似たような言葉で「孤立」や「独立」といった言葉もありますが、いったい何が違うのでしょうか。

以上のことを踏まえ、皆さんに夏休みの宿題です。

宿題➡「日常生活において自立できている状態」とはどのような状態なのか、「日常生活において自律できている状態」とはどのような状態なのか、国語辞典の解釈を鵜呑みにせず、自分なりに定義（こうなっているれば自立・自律できていると具体的にイメージ）し、その実現に向けて真摯に取り組んでください。

高校三年生にとって夏休みの過ごし方がいかに大切かは皆さんご承知のとおりですので、あらためてここでは言及しませんが、皆さんには「自立した学習者」を本気で目指し、そのために、まずは「自律した学習者」であってくださることを願っています。そして、私自身も…

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、進路研修会へのご参加、三者懇談へのご協力等ありがとうございます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

8月の主な行事予定

7月22日(水)～ 8月19日(水) 夏季休業

7月23日(木)～ 8月3日(月) 夏期講座

8月13日(木)～15日(土) 完全閉庁日（学校敷地内には入れません）

16日(日) 全統記述模試 第2回進路希望調査配信（8月21日回答完了）

20日(木) 【共テ】マイページ作成完了

①大掃除・MHR2③④⑤分短縮授業 ⑤⑥授業カット 漢字検定
選挙管理委員会

21日(金) ①～④⑤分短縮授業 ⑤⑥授業カット

22日(土) 学校見学会・理数コース説明会 土曜活用事業（サタチャレ）

25日(火)・27日(木) 指定校推薦公示（希望者は9月1日までに担任に申し出る）

27日(木) 第2回定期試験時間割発表 学習強化週間（～9月2日）

28日(金) ④立会演説会・投票 ⑥開票



「外側と内側」

4組担任 原田恵多

古屋彰先生と秋山先生とともに甲府東高校に赴任して2年目。10年以上この学校に勤めてきた雰囲気のあるお二方とは反対に、私はまだ慣れたとも言い難い生活を送っている。聞けば古屋卓先生も赴任してまだ3年目らしい。ベテラン感がすごい。私も1日でも早く Team Shoji の一員としてこの学年に貢献したいと思っている。それでも甲府東高校の謎には気付いてきた。南館の教壇…どうしてこんなに高い？今年北館の教室の担任となり、適度な高さを再認識した。たまに南館の教室に行くと危ない。赤の広場の立派な木々…その上にどうしてハンガーがやたらとかかっている？鳥の巣？でも鳥がいるところを見たことがない。晴れた日に1階から雨漏り？…これが創立50年の重みである。トイレの水圧…とにかく弱い。上の階だけか？やっぱり1階も弱かった。これらの謎は勤務しているうちに解決したい。

今まで勤務した学校はどうだったかな…振り返るともう教員生活18年目である。それでもその『内側』を知っている高校は意外と少ない。自分が高校生のときは他校との違いを考えることなんてほとんどなかった。毎日何かに追われ、学習においても部活動においてもとにかく課されたことを懸命にこなすことに精一杯だった。今思うととても視野が狭かった。周りから「将来のため」なんて言われても漠然とした理想はあったものの、それを達成するための方法が全く見えていなかった。もし、もう一度高校生活を送れるならもっと先を見据えて、余裕をもって、先手必勝で物事に取り組みたい。（教員となってこういう後悔を生徒にさせたくないかということ意外とそうでもない。失敗は少ない方が良いが、失敗がない人生だったら面白くない。）

私が『内側』を知っている（つもり）の高校は母校も含めて今のところ2校。ともにその学校ならではの雰囲気や特色があった。甲府東高校はその『内側』を学習中の3校目である。今のところの印象は簡単にいうと「良い」。朝のSHRや授業に行くと常に何かに追われている様子はあるものの、それでも自分がやるべきこと、目標を達成するために必要なことを考えているように見える（高校生の頃の私にはなかった）。でも、もしかしたらまだ悪い部分が見えていないだけかもしれない。私だけではないと思うが、何事にも全力で取り組んだり、頑張ろうとしたり、夢を叶えようと努力したりする人へは応援したい気持ちが強くなる。遠い存在であれば結果が印象に大きな影響を与えるが、近ければ近いほどその過程に目が向くようになる。これから様々な場面で集大成を迎えることになる3年生、結果が大事かもしれないが、その過程に本気の姿勢を見せてほしい。そして、私が今の生活に慣れた頃には【甲府東高校の印象は？】と聞かれたら【本気で応援したくなる学校】と答えていると期待している。

